

官業民営化等WG・市場化テストWG 合同ヒアリング調査票

(所管省庁名: 農林水産省)

【独立行政法人名】 独立行政法人家畜改良センター	
1. 根拠法令	<p>1 (共通)「独立行政法人家畜改良センター法」 2 「家畜改良増殖法」 3 「種苗法」 4 「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律(カルタヘナ法)」 5 「牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法(牛トレサ法)」</p>
2. 従事者数	921人(平成17年1月1日現在)
3. 予算額	8,866百万円(17年度)
4. 事務・事業の内容	<p>1 家畜の改良増殖・種畜配布 乳用牛、肉用牛及び豚の全国同一基準による遺伝的能力評価、乳用牛及び肉用牛の後代検定事業の推進等の実施と併せ、乳用牛、肉用牛、豚、鶏等について、自らの優良な家畜群を飼養・改良するとともに、全国から優良な家畜を導入し、受精卵移植技術等の技術を活用し新しい育種手法の実用化を図りつつ、その成果である種畜、精液等を供給。</p> <p>2 種畜検査 「家畜改良増殖法」に基づき、種雄畜(牛・豚・馬)について、毎年定期的に伝染性疾患及び遺伝性疾患の有無、能力・体型等に基づく等級判定等の検査を実施するとともに、農林水産大臣からの指示により種畜の飼養者等への立入検査等を実施。</p> <p>3 飼料用作物種苗の生産・配布 我が国の気候風土に適するよう、公的機関により育種された生産性の高い飼料作物の原種子について、その遺伝的な特性変化を防止しつつ、国際基準に基づく厳しい栽培管理条件の下、種苗の増殖及び供給を実施。</p> <p>4 種苗検査 「種苗法」に基づく流通段階の種苗の表示や品質の検査、「カルタヘナ法」に基づく遺伝子組換え生物を使用している場所等への立入検査等の実施のほか、OECD品種証明制度に基づく検査及び品種証明を実施。</p> <p>5 調査研究・講習指導 1及び3の業務に関する調査及び研究、講習並びに指導を実施。</p> <p>6 牛個体識別業務 「牛トレサ法」に基づいた、牛の出生・異動・死亡に関する届出情報のチェック、データベース化、情報管理・提供等を実施するとともに、BSE発生時における同居牛等の緊急検索を実施。</p>
5. 民間開放の状況	<p>既に次のとおり、可能なものから外部委託を実施。 遠隔ほ場における飼料生産業務等の外部委託を実施。 牛個体識別業務における入力等の単純作業について派遣職員を活用。 上記のほか、構内設備の保守点検業務(電気、浄化槽等)、研修施設における給食等について、外部委託。</p>

官業民営化等WG・市場化テストWG 合同ヒアリング調査票

(所管省庁名: 農林水産省)

【独立行政法人名】 独立行政法人家畜改良センター	
6. 当該独立行政法人を廃止した場合の影響	<p>都道府県や民間における家畜改良や種苗増殖は、家畜改良センターが行う優良な国産遺伝資源の確保・改良・増殖・供給等に依存して行われている。仮に、家畜改良センターが廃止されると、これら遺伝資源の利用ができなくなることから、各機関における改良増殖業務の停滞を招くこととなる。更には、我が国の国民のニーズに合った良質な畜産物の生産供給能力の低下、生産コスト低減の鈍化による国際競争力の低下による畜産業の縮小、これに起因する放棄農地の拡大による国土の荒廃等の影響を及ぼす恐れがある。</p> <p>また、「家畜改良増殖法」に基づく種畜検査、「種苗法」に基づく流通種苗の検査が行えなくなり、市場に混乱をきたす恐れがある。</p> <p>さらに、「牛トレサ法」に基づく、適正なデータベースの運営・管理が行えなくなることから、国産牛肉の流通に重大な支障をきたすのみならず、食の安全・安心に関する政府の取組みに対する消費者の信頼を著しく損なうこととなる。</p> <p>以上のように、家畜改良センターを廃止した場合の社会的影響は大きい。</p>
7. 更なる民間開放についての見解	<p>家畜管理等を担当する職員の業務のうち、家畜管理及び飼料生産業務における単純作業については、現有の人員を有効活用することを基本に、退職者の状況を踏まえ、段階的に外部委託を進めることとしている。</p>

別紙においてご説明される場合は「別紙参照」とご記入ください。

官業民営化等WG・市場化テストWG 合同ヒアリング調査票

(所管省庁名: 農林水産省)

【独立行政法人名】 独立行政法人家畜改良センター	
8. 個別の質問項目 平成16年度の活動実績について、各業務内容ごとに、詳しくご教示願いたい。	
1 家畜の改良増殖・種畜配布	全国同一基準で、乳用牛、肉用牛及び豚の遺伝的能力評価をそれぞれ年4回実施。 全国規模で行う乳用牛及び肉用牛における後代検定事業について、都道府県、関係団体、民間等を調整・指導。 乳用牛、肉用牛、豚、鶏の優良種畜等を生産し、都道府県、関係団体、民間等へ延べ約1,100頭、鶏卵約140千個を配布。
2 種畜検査	「家畜改良増殖法」に基づき、全国の5,800頭の牛、馬及び豚の種雄畜について検査を実施。
3 飼料用作物種苗の生産・配布	約40の公的育成品種を増殖し、公益法人、地方公共団体等へ配布。
4 種苗検査	「種苗法」に基づき、流通する約1,200点の種苗を収集し、種苗の表示や品質の検査を実施。 OECD品種証明制度に基づき、約200件の検査及びそれに基づく品種証明書を発行。
5 調査研究・講習指導	家畜の育種改良に有用な遺伝子探索、繁殖技術の改善等を実施。 約2,000名の国内研修生を受け入れ、研修を実施。
6 牛トレサ業務	約1,300万件の届出を受理し、チェックの上データベースを構築。 約1,400万件の情報提供を実施。 農林水産省の指示により、BSE関連牛の緊急検索を実施。
業務内容のうち、民間事業者によって実施不可能なものがあれば、その理由と併せてご教示願いたい。	
1 家畜の改良増殖・種畜配布	家畜の改良は、多頭数、広大なフィールド、長い年月を必要とすることから、国(家畜改良センター)、都道府県及び民間が役割分担をして実施してきている。 特に家畜改良センターは、全国から優秀な家畜を収集し、先端的な技術を使って改良をする困難な段階を分担しており、疾病の侵入、先端技術の不安定性等リスクが高く、成果を得るまでに長期間を要する等民間では取組むことの困難な業務を実施している。
2 種畜検査	公権力の行使等を伴うものであり、「家畜改良増殖法」に基づき、家畜改良センターが実施することとされている。 当該検査については、種畜等の流通を制限するものであることから、検査の公平性、中立性が必要であり、民間による実施では、種畜の実需者である畜産農家等からの理解が得にくいと考えられる。
3 飼料用作物種苗の生産・配布	飼料作物種苗の増殖は、開花・結実期に雨の多い我が国の気候特性や脱粒が多いことから種子の採種率が低く、また、容易に交雑が起こりやすい他殖性の種子であることから遺伝的な純度を保つことが困難であり、これらに対応するためには、特殊な施設・機械、広大なフィールドはもとより、長年蓄積された技術を必要とするため、民間では取組むことが困難である。

官業民営化等WG・市場化テストWG 合同ヒアリング調査票

(所管省庁名: 農林水産省)

【独立行政法人名】 独立行政法人家畜改良センター	
4 種苗検査	<p>公権力の行使等を伴うものであり、「種苗法」及び「カルタヘナ法」に基づき、家畜改良センターが実施することとなっている。</p> <p>また、流通種子の検査については、民間による実施では、検査の公平性、中立性等について被験者からの理解が得にくいこと、遺伝子組換え生物の使用の制限については、食の安全・安心の観点から消費者が常に注視している事柄であり、民間による検査では消費者の理解が得にくいこと、OECD品種証明制度に基づく検査等は、政府の責任で行うこととされており、家畜改良センターを実施機関としていることから、いずれも民間では取組むことが困難。</p>
5 調査研究・講習指導	<p>調査研究については、家畜の改良増殖、飼料作物種苗の増殖等の家畜改良センター業務の効率化・高度化に必要な技術の向上につながる調査研究を実施しており、その部分のみの外部化は困難である。</p> <p>講習指導については、既に給食・施設管理等は民間委託しており、施設の未利用期間は民間団体等への利用に開放している。</p>
6 牛個体識別業務	<p>公権力の行使等を伴うものであり、「牛トレサ法」に基づき、家畜改良センターが実施することとなっている。</p> <p>また、食の安全・安心に関する政府の取組みに対する消費者の信頼を著しく損なうこととなるため、民間事業者が実施することは困難。</p>
<p>民間から、独立行政法人家畜改良センターが実施している業務について、市場化テストの実施を含む民間開放の要望があるが、貴省の見解如何。</p>	
<p>独立行政法人家畜改良センターの業務のあり方については、農林水産省独立行政法人評価委員会、総務省政策評価・独立行政法人評価委員会等での議論を行っているところである。</p> <p>また、当該法人の業務は、国、都道府県、民間による役割分担がなされた上で、長い年月や広大なフィールド、先端的な改良増殖技術等を必要とする、民間が取り組むことが困難なものであること、</p> <p>で身につけた技術・能力を基に、公正・中立な立場で立入検査等の公権力を行使する必要があること、食の安全・安心に対する消費者の不安を解消するため国として実施する必要があること、国際的な制度に準拠した実施機関が行う必要があるものが含まれること等から、市場化テストの導入を含む民間開放は困難と考えている。</p>	